

住宅火災による死者が相次いで発生しています！

平成28年中の火災による死者は17人（平成28年12月5日現在）で、昨年同日と比較して4人多く、昨年一年間の死者数15人を上回っております。

火災による死者17人の発生状況を見ますと、15人（88.2%）が住宅からの火災により発生しており、65歳以上の高齢者は7人（41.2%）を占めております。

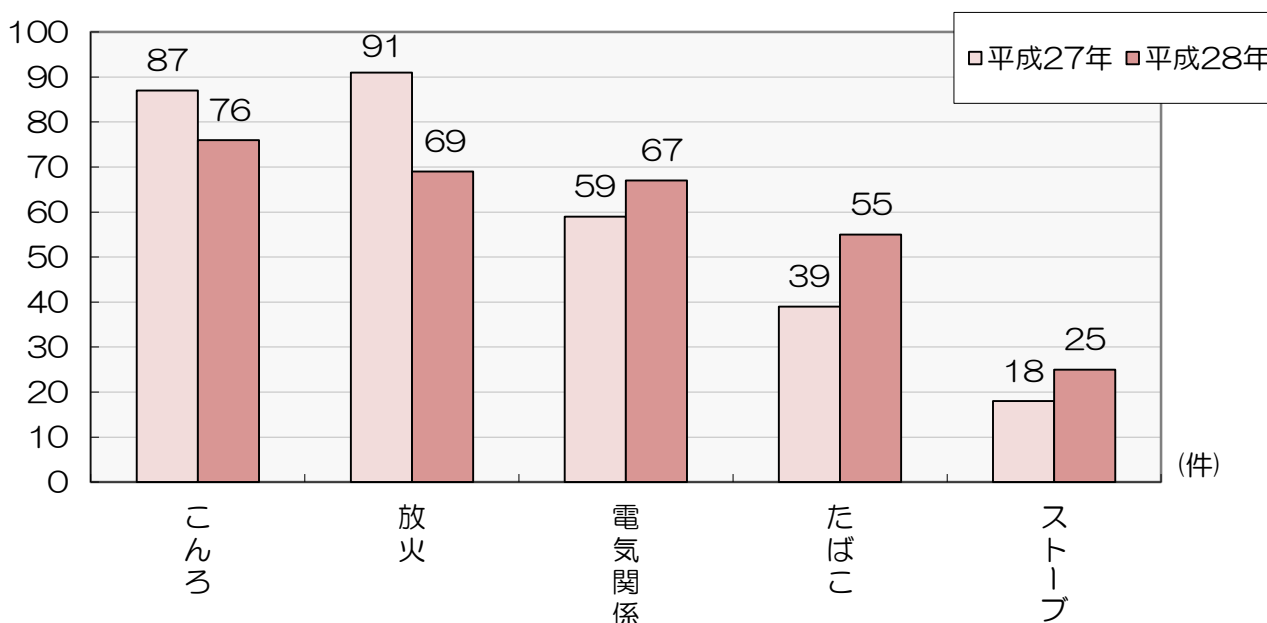
また、火災による死者17人のうち7名（41.2%）がたばこが原因により亡くなっており、このうち、65歳以上の高齢者は4人（57.1%）を占めております。

なお、裏面に火災事例と火の取扱いの注意ポイントを掲載しておりますので、市民への注意喚起資料としてお使いいただけますと幸いです。

主な原因別火災発生状況

平成28年中の火災発生件数は488件（平成28年12月5日現在）で、昨年同日と比較して15件減少しておりますが、「たばこ」、「ストーブ」が原因の火災が増加しています。

これから歳末期に入り本格的な採暖期を迎えますので、くれぐれも火の取扱いには十分注意してください。



※数値は平成28年12月5日現在（速報値）

火のもとに注意！！

★火災事例紹介

たばこ火災

寝たばこで布団を焦がし消火したが、布団の中に火種が残っていたため、数時間後に火災になったもの。



ストーブ火災

ストーブの真上にかけていた洗濯物が落下し、ストーブの熱により火災になったもの。



こんろ火災

油を加熱し、そのことを忘れて子どもの世話をしていたため、時間が経ち火災になったもの。

★火の取扱いの注意ポイント

- たばこ火災 ～
 - ・灰皿に吸い殻をためず、吸い殻は水をかけてから捨てる。
 - ・寝たばこはしない。
- ストーブ火災 ～
 - ・ストーブの上に洗濯物を干さない。
 - ・ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- こんろ火災 ～
 - ・こんろを使用しているときはその場を離れない。
 - ・こんろのまわりに燃えやすいものを置かない。
 - ・グリル内はこまめに清掃する。